

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|----|-------------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス あんずの家 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7 年 1 月 7 日 | | ～ 令和 7 年 1 月 17 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 40 | (回答者数) 33 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7 年 1 月 7 日 | | ～ 令和 7 年 1 月 17 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7 年 3 月 21 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。 | ・懇談では事業所や家庭、学校の様子を話し合い、こどもを多面的に見て課題を明確にしている。懇談後は職員に報告を行い、検討会議を実施。計画を作成している。 | ・月に1回、ケース会議を行い、こども理解を深めたり支援の共通理解をする。 |
| 2 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。 | ・1階と2階があり、活動内容やメンバーによって過ごす場所を考えている。クールダウンできる部屋を設け、自分で気持ちの切り替えができるようにしている。 | ・体を動かせる場所や集中して個別課題に取り組める場所などそれぞれの目的に合った場所を提供できるよう、こどもの実態を把握しながら環境構成をする。 |
| 3 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。 | ・年2回の懇談で家庭での様子を聞いている。 ・迎えに来てくださる保護者の方が多いので、その際、家庭や学校での様子も聞き、相談を受けている。 | ・玄関に相談カードを設置し、聞いてほしいときにすぐに対応できるようにする。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が少ない。 | ・個別に相談には応じていたが、研修の機会は少なかった。 | ・研修や情報提供があれば、掲示だけでなくスクリーンでも発信する。 ・あんずカフェとして場を設け、テーマについて意見交換したり知識を深めたりする機会を作り、こどもの特性を理解し、前向きに子育てができるよう支援する。 |
| 2 | 保護者同士またはきょうだい同士の交流の機会が少ない。 | ・昨年度行った環境整備が今年度は実施できなかった。 ・きょうだい同士の交流として協会内で会があるが、参加者がいなかった。 | ・懇談や普段の話の中できょうだいの様子も把握する。 ・協会内のきょうだい同士の交流の場を知らせる。 ・環境整備を実施できるよう、年度当初に日時を決定する。 |
| 9 | 放課後児童クラブや保育園児との交流をしているが知られていない。 | ・同敷地内の放課後児童クラブや保育園児とは園庭で一緒に遊んだり、夏祭りなどの行事を一緒に楽しんだりして交流している。 ・土曜日利用の中学生は保育園の手伝いをしている。 ・交流はあるものの認知が低かった。 | ・HPなどで交流の様子を伝えるようにする。 |

保護者等からの事業所評価の集計結果

回収数 33/家庭数40(回収率 82.5%)

公表日 令和7年3月21日

| 内 容 | | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|--|-------|-----------|-------|------------------------------------|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 29 | 2 | 0 | 2 | ・園庭や2階部分もあって、人数に対して十分なスペースがあると思うから。 ・もう少し広めの場所がほしいです。 | ・利用児や活動内容により2階部分も利用しながら、ゆったり過ごせるように工夫しています。 |
| | | 87.9% | 6.1% | 0.0% | 6.1% | | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 24 | 1 | 0 | 8 | ・もう少し多ければなおいいと思いますが。 | ・職員は定められた人数配置に沿って適正に配置しています。 |
| | | 72.7% | 3.0% | 0.0% | 24.2% | | |
| 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(こども本人にわかりやすくすること)になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 25 | 2 | 0 | 6 | ・視覚化してくださっているの、親も子も分かりやすいです。 | ・視覚化することで誰にでもわかりやすい環境を整えています。 | |
| | 75.8% | 6.1% | 0.0% | 18.2% | | | |
| 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 26 | 3 | 0 | 4 | ・あまり見ることがないので言えませんが、いいのではないかと思います。 | ・こどもの実態に合わせて環境の見直しを図り、その都度整えています。 | |
| | 78.8% | 9.1% | 0.0% | 12.1% | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。 | 29 | 2 | 0 | 2 | ・いつも細かくみてくださってありがとうございます。 | |
| | | 87.9% | 6.1% | 0.0% | 6.1% | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業 所の提供する支援内容とあっていると思いま すか。 | 28 | 0 | 0 | 4 | | ・支援プログラムをHPに公表していますのでご覧ください。 |
| | | 84.8% | 0.0% | 0.0% | 12.1% | | |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、放 課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作 成されていると思いませんか。 | 31 | 1 | 0 | 1 | | ・今年度より懇談時期を受給者証更新の時期に合わせて実施しました。懇談時に保護者の方とモニタリングをして、計画に反映しています。 |
| | | 93.9% | 3.0% | 0.0% | 3.0% | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービス ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の 「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から こどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思いませんか。 | 30 | 1 | 0 | 2 | | |
| | | 90.9% | 3.0% | 0.0% | 6.1% | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行 われていると思いませんか。 | 31 | 1 | 0 | 1 | | |
| 93.9% | | 3.0% | 0.0% | 3.0% | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|-------|------|-------|---|--|
| 10 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 27 | 2 | 0 | 4 | | ・子どもたちが楽しめる活動内容を考えています。また個別課題も取り入れ、ひとりひとりの発達に合わせた課題も行えるようにしています。 |
| | | 81.8% | 6.1% | 0.0% | 12.1% | | |
| 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 19 | 6 | 2 | 6 | ・保育園のお手伝い等、ここならではの交流だと思います。貴重な体験をさせていただき感謝しています。 | ・同じ敷地内にある保育園や放課後児童クラブと行事を共有しています。 ・保育園のお手伝いでは人の役に立つ喜びが味わえるようにしています。 |
| | | 57.6% | 18.2% | 6.1% | 18.2% | | |
| 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 30 | 2 | 0 | 1 | | ・契約時に説明をしています。ご不明な点がございましたらいつでもお声がけください。 |
| | | 90.9% | 6.1% | 0.0% | 3.0% | | |
| 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。 | 32 | 0 | 0 | 1 | | |
| | | 97.0% | 0.0% | 0.0% | 3.0% | | |
| 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が行われていますか。 | 14 | 6 | 0 | 13 | ・参加したことがない | ・今年度は家族支援加算の中で個別に対応させていただきました。 ・玄関に研修会や情報提供をしています。スクリーンでも配信できるようにしていきます。 |
| | | 42.4% | 18.2% | 0.0% | 39.4% | | |
| 15 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 27 | 5 | 0 | 1 | ・利用の際に持たせるお手帳に相談や伝えたいことを書いてもそれに対する返事がなく不安になることがあった。 ・連絡ノート以外に、送迎時に色々と様子を教えて頂けるので助かります。 | ・連絡帳の保護者の方からのコメントの確認と返答について、職員一同気を付けていきたいと思えます。気になることがあればお電話でも構いませんのでお知らせください。 |
| | | 81.8% | 15.2% | 0.0% | 3.0% | | |
| 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 30 | 1 | 0 | 2 | | |
| | | 90.9% | 3.0% | 0.0% | 6.1% | | |
| 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 30 | 11 | 0 | 2 | ・そうであってほしい。 | |
| | | 90.9% | 33.3% | 0.0% | 6.1% | | |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 12 | 7 | 3 | 11 | | ・今年度は環境整備が実施できませんでした。 ・きょうだい同士の交流として、岡山子ども協会で会があります。ご案内を掲示とともにスクリーンでも発信していきますのでご参加ください。 |
| | | 36.4% | 21.2% | 9.1% | 33.3% | | |
| 19 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者にそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 25 | 1 | 0 | 7 | | ・保護者からの相談等の申し入れについてはその都度受け入れて対応しています。送迎時やお電話でお声がけください。 |
| | | 75.8% | 3.0% | 0.0% | 21.2% | | |

| | | | | | | | |
|---------|---|-------|------|------|-------|--|---|
| 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 28 | 2 | 0 | 3 | | ・お迎えの時にその日の様子をお伝えできるようにしています。 |
| | | 84.8% | 6.1% | 0.0% | 9.1% | | |
| 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 29 | 1 | 0 | 3 | | |
| | | 87.9% | 3.0% | 0.0% | 9.1% | | |
| 22 | 個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いますか。 | 29 | 2 | 0 | 2 | | ・書類などの個人情報は鍵のかかる場所に保管しています。 |
| | | 87.9% | 6.1% | 0.0% | 6.1% | | |
| 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 20 | 3 | 0 | 10 | | ・マニュアルは誰でも閲覧できる場所に置き、定期的に研修したり、避難訓練で確認したりしています。 |
| | | 60.6% | 9.1% | 0.0% | 30.3% | | |
| 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 | 21 | 2 | 0 | 10 | | ・定期的に様々な状況を想定し、安全に避難できるよう避難訓練を実施しています。 |
| | | 63.6% | 6.1% | 0.0% | 30.3% | | |
| 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 26 | 1 | 0 | 6 | | |
| | | 78.8% | 3.0% | 0.0% | 18.2% | | |
| 26 | 事故等(怪我を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 22 | 2 | 1 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用日に学童の先生がケガを見つけて報告を受けた事がある。あんずの利用後の帰りでのケガだったがあんずの先生からの報告は無かった。 ・丁寧な説明、その後、様子確認のお電話も頂きました。十分すぎるくらいです！お忙しい中、本当にありがとうございます！！ ・けがをほとんどしたことがないので。 | ・放課後児童クラブへの引き渡しの際にも安全に気を付け、保護者の方への連絡も職員に周知します。 |
| | | 66.7% | 6.1% | 3.0% | 24.2% | | |
| 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 31 | 0 | 0 | 1 | ・職員の方々が優しく接して下さるので、安心して感じるように感じます。 | |
| | | 93.9% | 0.0% | 0.0% | 3.0% | | |
| 28 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 30 | 2 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・行きたくない、と言ったことはなく、毎回楽しく通所させていただいています。 ・毎週楽しみにしています。 | ・これからも職員と保護者の皆さんと手を取り合って、子どもたちにとって居心地のいい場所であり続けられるようにします。 |
| | | 90.9% | 6.1% | 0.0% | 3.0% | | |
| 非常時等の対応 | | | | | | | |
| 満足度 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|----------------|-------|------|------|------|--|---|
| 29 | 事業所の支援に満足しているか | 31 | 1 | 0 | 1 | <p>・いつも丁寧なご支援ありがとうございます。子どもだけでなく親の話も親身に聞いてくださり、一人ではないと親子ともども安心できました。いつも優しい笑顔で迎えてくださる職員の方々のおかげで頑張れます。</p> <p>・満足しています。</p> <p>・いつも楽しみに通わせてもらってます。宿題を見ていただいたり色々な活動をしてくださりありがとうございます。</p> | <p>・平日の利用時間は短いですが、子どもたちの毎日が充実したものになるよう、これからも職員間、そして保護者の方々と連携しながら、日々の生活を組み立てていきます。</p> |
| | | 93.9% | 3.0% | 0.0% | 3.0% | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス あんずの家 | | | 公表日 | 令和 7 年 3 月 24 日 |
|---------|--------|---|-----------------------|---------|---|-----------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 各コーナーごとに発達や興味にあった遊びを用意して落ち着いて過ごせるようにしている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 適切であると思います。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | <input type="radio"/> | | 写真や字など視覚化してわかりやすい環境にしている。また、バリアフリーを意識して設計されている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | 日々の消毒・清掃、布類の洗濯をして清潔に保てるようにしている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | 不安定なときはクールダウンの部屋で過ごすことをこども自身から伝えてくる。 | |
| | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | 活動グループを2週同じメンバーにし、1週目の反省、課題を2週目に活かすようにしている。 | |

| | | | | | | |
|------|----|--|---|---|---|--------------------|
| 業務改善 | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | アンケートを活かすようにしている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 職員会議やミーティングなどで意見を出し、改善できるようにしている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | 外部評価は実施していない。 | 今後、第三者評価等の導入を検討する。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 合同研修会議やケース会議等で障がい特性について考える機会がある。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | | ○ | | 作成し、3月上旬にHPに公表した。 |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 今年度より懇談時期を受給者証更新時期に合わせた。懇談で保護者と一緒にモニタリングをし、その後、職員間で検討会議を行い、計画を作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 職員全員参加の検討会議を実施している。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 作成した計画を職員間で共有している。 | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | アセスメントを実施している。 | |

適切な支援の提供

| | | | | | |
|----|--|---|---|---|--|
| 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 支援計画に盛り込まれている。 | |
| 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 大まかに一人の職員が立て、みんなで話し合って細部を決めている。 | |
| 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 必要に応じて、固定のプログラムも行うが、その中でも段階を踏むなど工夫をしている。 | |
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 個々のスキルや目標に応じて、個別活動と集団活動を組み込んで作成している。 | |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | サービス提供時間前に行っている。 | |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | | ○ | | 送迎等により全職員が集まることができないが時間を見つけて話をするようにする。 |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 福祉ソフトにそれぞれの職員が日々の記録を入力し、児発管が確認している。 | |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 半年に一度は必ず行い、その他でも適宜見直しを行っている。また、担当者会議での内容を共有し、計画に反映している。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--|--|
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | ○ | | 組み合わせている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 組み合わせている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 児発管が参加している。事前に職員間でこどもの様子や課題等について話し合ってから参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 対象利用児がない。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 学校への送迎時や、必要に応じてその都度情報共有をしている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 保護者を通じてモニタリングの結果を提出してもらい、情報提供している。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | ○ | 対象利用児がない。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 設けていない。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | 学期に1度は夏祭りなどの行事を一緒に行い、交流している。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | | ○ | 参加できていない。 | 職員が積極的に参加し、地域の支援について学ぶ機会をもつようにする。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | | ○ | 送迎時や連絡帳で日々の様子を伝えている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | 必要に応じて個別に対応している。 | 職員も研修等で学び、保護者へ支援する機会を計画的に作る。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | ○ | 契約時に説明している。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | | ○ | 懇談時に行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | | ○ | 説明し、同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | | ○ | その都度対応している。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | 保護者会の環境整備の実施ができていない。 | 来年度は環境整備等、実施できるように計画する。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | | ○ | 副主任が対応し、上司に報告している。 | |

| | | | | | | |
|-------|----|---|---|---|--|---------------------|
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 月に一回施設だよりを発行している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 個人情報は鍵の掛かる場所に保管している。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | カードを使ったり、視覚的にしたりと個々に合わせた分かりやすい工夫をしている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | あまり機会がないと思っている。 | 地域に出かける機会を作れるようにする。 |
| 非常時等の | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | マニュアルは誰でも閲覧できる場所に置いている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 月に一回様々な場面を想定し、避難訓練を行っている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 契約時に聞き取り、職員で共有している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | アレルギーの診断書のもと、アレルギー面談を行っている。給食職員と連携し、個別に対応している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | | ○ | | 安全点検や車両点検など実施している。 |

| | | | | | | |
|----|----|--|---|---|---|---------------------------------|
| 対応 | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | ○ | | 通信などで伝えるようにする。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 職員会議やミーティングなどで確認している。 | ヒヤリハットをしっかりと書くことで、危機管理意識を高めていく。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 外部やオンラインの研修に参加したり、事故チェックリストの作成をしたりしている。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 対象利用児はいない。 | 身体拘束の適正化を図る機会を設ける。 |

社会福祉法人 岡山こども協会

○あかいわ児童発達支援センター もみじの家

・放課後等デイサービス こぶしの家

○放課後等デイサービス あんずの家

○児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家



作成年月日 令和7年2月25日

わたしたち岡山こども協会は

いつでもだれでも

私たち法人を必要とするすべての方に門を開いています。

一人ひとりを大切に

こどもたち一人ひとりが、友だちとともに豊かな経験ができるようにします。

おとなも育つ

親・保育者・地域のこどもをとりまくおとなが、こどもとともに育つ場所にします。

新たな一歩

社会や地域のニーズに目を向け、社会福祉施設として、幅広い世代を支える事業を進めます。

を目指します。

法人理念

『生きる力』を育みます。

生活する力

【健康・生活】身辺自立、社会生活に必要なスキルをスモールステップで身につけられるよう支援します。

【認知・行動】生活スキルやマナー、公共機関の利用方法など社会生活に必要なスキルをご家族と協力しながら伝えていきます。

人とかかわる力

【言語・コミュニケーション】自己表現の方法をこどもや保護者と一緒に考えていきます。

【人間関係・社会性】自由時間の過ごし方や友だちとの交流の仕方など、小集団の中で身につけられるよう支援します。

【人間関係・社会性】人とより良い関係が作れるようこどもにあった方法で伝えます。

学ぶ力

【健康・生活】個々のこどもが活動しやすい環境設定に努めます。

【人間関係・社会性】「楽しめること」「わかること」を見つけ、そのことがこどもの「強み」になるよう支援します。

【言語・コミュニケーション】質問したり、援助要求を出したりする方法を身につけられるよう支援します。

【運動・感覚】あそびや活動を通して、指先の巧緻性や身体を使う力を養います。



家族支援

- ・懇談の実施
- ・連絡帳を介したこどもの情報共有
- ・支援内容に関する情報発信

移行支援

- ・ライフステージの切り替えを見据えた取り組み
- ・在籍園や進学校、放課後児童クラブとの情報共有

地域支援・地域連携

- ・在籍校園との情報共有
- ・地域資源の活用
- ・同敷地内保育園、放課後児童クラブとの交流

職員の質の向上に資する取組

- ・経験年数に応じたフォローアップ研修や法人内研修の実施
- ・障がい理解を深める県内外の研修への参加

保育園、放課後児童クラブとの交流の中で

あんずの家は同敷地内に「さくらが丘保育園」と「さくらが丘こどもセンター」があります。夏祭りやクリスマス会などの行事を一緒に楽しむことで、いろいろな人とのかかわりが経験できるようにしています。また、職員間が定期的に情報共有することで、こども理解や円滑な移行につなげ、安心できる居場所となるようにしています。

主な行事等

- ・季節に応じた同敷地内保育園、放課後児童クラブとの交流
- ・入所児歓迎会、お別れ会

他